

# 選挙公報掲載文原稿用紙（活字用）

衆議院小選挙区選出議員選挙長野県第 5 選挙区

候補者氏名 福田じゅんた

ごあいさつ

来年度予算案を審議する前に衆議院が解散されました。補正予算の執行や予算編成に追われる職員の皆さんは選挙事務の負担にも追われます。豪雪地帯や大学受験生の皆さまは投票所に行くことすら大変な状況です。いったいなぜこの時期に、解散するのか。総理の説明では全くわかりませんでした。我々は従来から食料品の消費税0%の実現を政権与党に求めてまいりました。しかし、総理はレジシステムの改修に時間がかかり、即効性もないと提案を受け入れてきませんでした。それにもかかわらず、いきなり公約に掲げ、そのうえ、「財源やスケジュールなど検討を

加速する」という表現にとどめています。本当にやる気なら野党各党は消費減税を訴えているのですから、解散をせずに通常国会で法案を成立させればよかったのではないのでしょうか。国民はいま、生活に困っています。もう先延ばしにする猶予はありません。我々は具体的な財源を示しております。さらに2年間限定ではなく、恒久的に、ずっと食料品の消費税を0%にするとお約束しております。福田じゅんたは、弱肉強食の政治から、食料品の消費税ずっと0%をはじめとした生活支える政治に転換します。



福田じゅんた  
ホームページ

- 1 旧統一教会と国会議員の関係の再調査  
企業・団体献金の受け手規制の強化

## クリーンな政治の実現

- 2 クリーンエネルギーや農業関連、航空宇宙関連の産業・研究機関を集積

- 3 リニア三遠南信の効果を伊那谷全体に広げるため、特急伊那路の伊那市駅延伸を要請

- 4 リニア中央新幹線の早期開業と、飯田―名古屋間の先行開業をJR東海に働きかけ

## 持続可能な伊那谷の構築

- 1 移住者に対し、住民税を一定期間軽減し、東京一極集中を是正

- 2 リニア中央新幹線の早期開業と、飯田―名古屋間の先行開業をJR東海に働きかけ

## いつまでも安心して生活できる社会

- 1 赤字の公立病院への支援や新築建て替えの補助

- 2 保険料を払っていないなくても受給できる月額約8万円の最低保障年金の導入

- 3 SNSで相談できる体制を構築

- 1 食肉処理施設の移転・新築や経営の補助で伊那谷の畜産業を守る

- 2 農業者戸別所得補償制度を復活し、コメや野菜、果樹などに拡大

- 3 高騰した農業機械などへの支援

## 伊那谷の農家を守る

- 1 食料品の消費税をずっと0%に

- 2 中小企業も含めた物価高を上回る賃上げの実現

- 3 新たに正社員を雇い入れた企業に対し、新規採用分の社会保険料を半分10年間補助

## 生活支える積極財政

- 1 食料品の消費税をずっと0%に

- 2 中小企業も含めた物価高を上回る賃上げの実現

- 3 新たに正社員を雇い入れた企業に対し、新規採用分の社会保険料を半分10年間補助

## 生活支える政治に転換

飯田市出身  
32歳



中道改革連合公認  
福田じゅんた

受付順位	※	受付年月日	※	年	月	日
		受付者	※			

（※印欄は記載しないこと）

長野県選挙管理委員会